JELLY BEANS Group

山東若嘯科技有限公司との業務提携 締結に関するお知らせ



PURPOSE OF THE PARTNERSHIP

業務提携の背景と目的

当社の戦略

ジェリービーンズグループは、持続的な成長のため、成長著しい中国のEコマース 市場への事業展開を最重要戦略の一つとして掲げております。

山東若嘯科技の強み

中国の主要ECプラットフォーム(京東、天猫など)において、柔軟な運営とビッ グデータ活用によるきめ細かな運営システムを強みとしています。

多くのブランドの成長を支援してきたEコマース総合ソリューションのプロフェッ ショナル集団です。

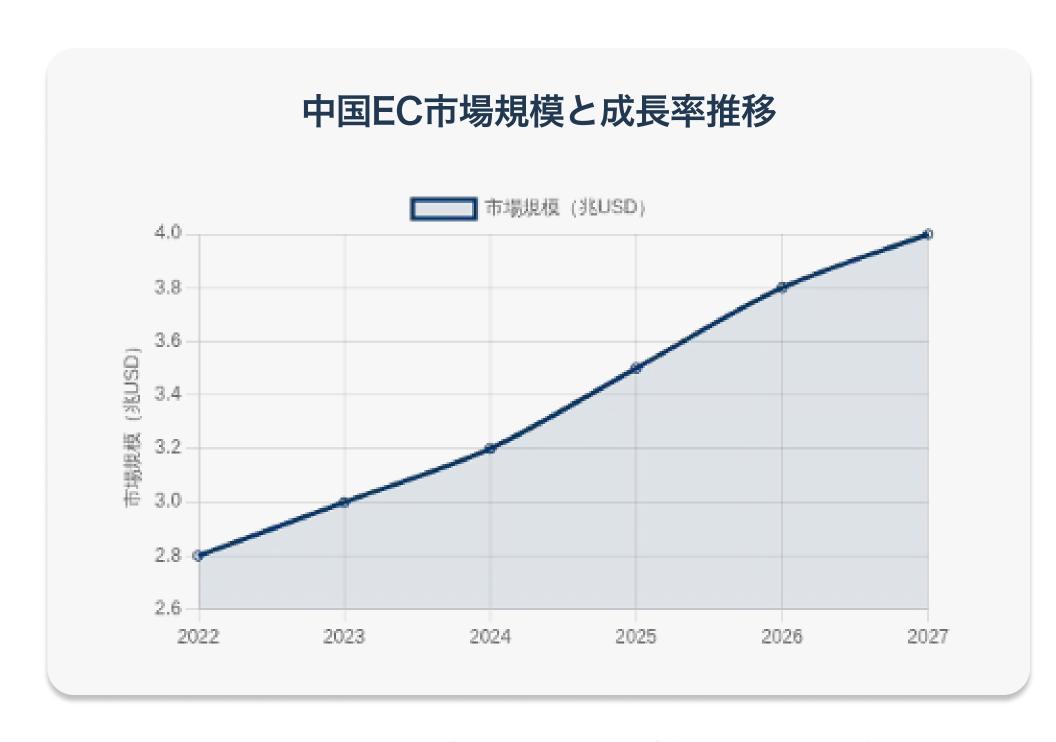
提携の目的

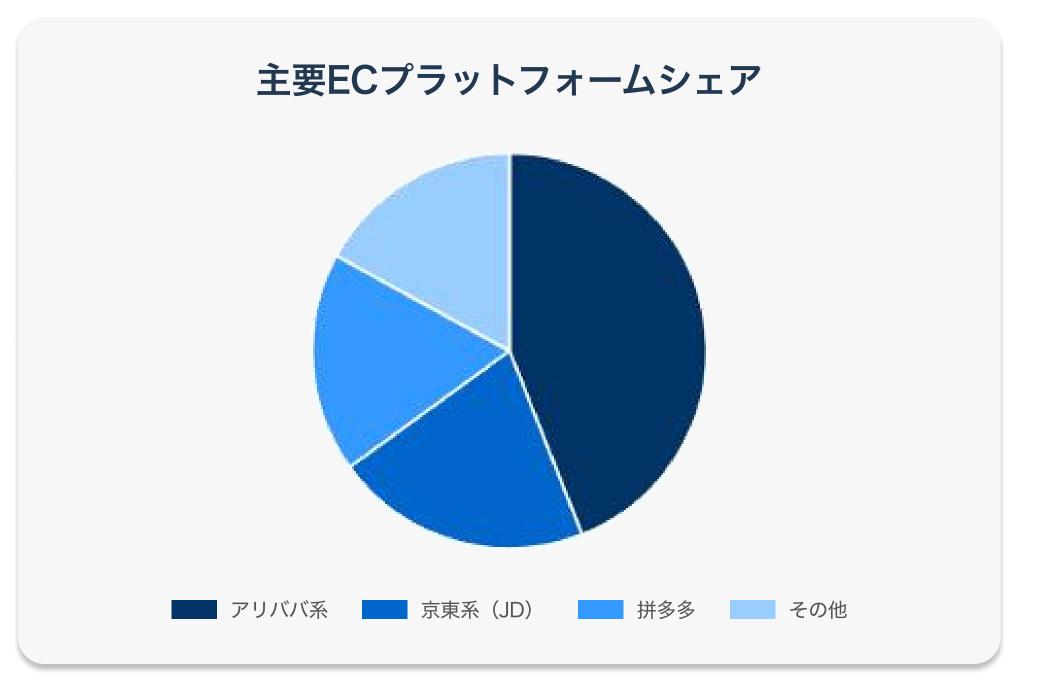
当社の持つ優良な商品・ブランドカと、山東若嘯科技の持つ「龍吟虎嘯」の運営 パワーおよび京東エコシステムでの豊富なリソースを融合させます。

中国市場における事業基盤の早期確立と、売上・ブランド価値の最大化を図るこ とを目的としています。

中国EC市場の現状と機会

- >>> 中国は世界最大のEC市場。BtoCプラットフォームはアリババ系・京東・拼多多が三強。
- » 成長性:中国EC市場は2027年まで年平均約8%成長で約4兆USD規模へ(MURC, 2024)。
- >> 越境EC:世界のBtoC-ECに占める中国のシェアは50%超。日本関連商材の需要が継続。





出典・三菱UFJリサーチ&コンサルティング「中国向け越境EC ビジネスの展開方法及びソーシャルコマースの動向」・JETRO「拡大するEC市場(世界)」・ Find Japan「中国越境EC市場動向」

ABOUT

山東若嘯科技有限公司について

企業概要

名称 山東若嘯科技有限公司

所在地 山东省青岛市李沧区九水东路130号2号楼301-1室

代表者 首席执行官 赵辉

資本金 300万元

設立 2025年8月1日

事業内容 中国ECプラットフォームにおけるEコマース運営代行、デジタルマーケティング、

サプライチェーンソリューションの提供など

山東若嘯科技有限公司の強み

運営+トラフィック デュアルドライブ

運営ノウハウとトラフィック創出の 両方を組み合わせた独自のECプラッ トフォーム運営システム 爆品声浪モデルによる ヒット創出

独自のマーケティング手法で 特定カテゴリのトップ商品を 生み出す実績を保有 京東エコシステム活用と フルリンク最適化

京東プラットフォームでの ビッグデータ活用力、生産から 販売までのフルチェーン最適化能力



PARNERSHIP

提携の具体的内容

01

主要ECの 共同運営

京東・天猫など 中国主要ECプラット フォームにおける 店舗運営を共同で実施 02

デュアルドライブと 爆品声浪

「運営+トラフィック」の 二輪駆動と独自マーケティ ングモデルによる プロモーション 03

サプライチェーン 最適化

越境ECチャネルを含む 生産から物流 販売までの フルリンク構築 04

OEM/ODM 商品共同開発

京東ビッグデータに 基づく中国市場向け 専属商品の 企画・開発 05

成長エコシステム 構築

京東全域リソースを 統合した出品者成長 エコシステムを 共同構築

SCHEME

協業スキーム



両社の強みを融合した協業スキーム

- **▶** 当社の商品企画力・ブランドカと山東若嘯科技の運営力・プロモーション力を融合
- 「龍吟虎嘯」の運営パワーと「爆品声浪」マーケティングモデルで販売力を最大化
- ♪ 京東エコシステムを活用した販促・流通・運営の最適化とデータドリブン経営を実現

京東全域リソースの統合

京東エコシステム全域リソースを 統合し出品者成長エコシステム アライアンスを構築

EFFECTS AND BENEFITS

期待される効果とメリット

>> 参入障壁の低減と短期立ち上げ

山東若嘯科技のプロフェッショナルな運営ノウハウを活用することで、中国EC市場への 参入を短期間でかつ低リスクで実現できます。中国固有の商習慣やプラットフォーム特 性への対応、販促施策の最適化により、参入障壁を大幅に引き下げます。

>> 爆発的な売上成長の可能性

山東若嘯科技の独自の「爆品声浪」マーケティングモデルにより、特定のカテゴリで Top商品を生み出す機会が創出されます。参考事例として、3年未満で年間GMV4,000 万元超を達成した京東光威自営専門店の実績があり、当社ブランドの売上ポテンシャル を最大限に引き出します。

>> データドリブン経営

京東ビッグデータに基づく精度の高い消費トレンド分析を通じて、中国市場における商品選定、在庫管理、プロモーション戦略を最適化します。データに基づいた的確な意思決定により、効率的な運営と競争優位性の確立が可能となります。

